

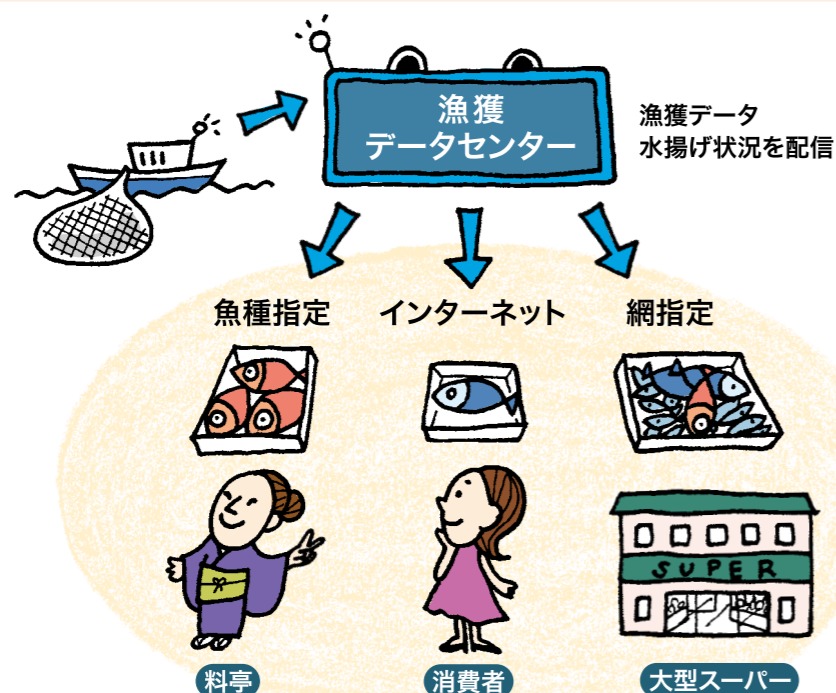


# ICTを活かした水産物販売の多様化

※ ICT: 情報通信技術



- ICT活用により漁獲物の多様な取引形態を実現
- 市場を通さないことにより高鮮度の水産物を実需家に提供
- 消費者の多様なニーズに対応することで新しい需要創造を実現



## シナリオ

- 広域大量流通を前提とする市場流通では、「規格外（少量、サイズ等）」の高級魚や珍しい魚を細かく選別して販売することが難しく、漁業者にとって、規格外漁獲物の販売方法は課題となっていた。
- 一方で、消費者の嗜好は多様化しており、安全・安心が担保されていれば、規格にはこだわらない傾向にあった。
- そこで、漁業者がIT企業と連携し、規格外漁獲物の需要創造を実現するため、ICTを活用した漁獲データの集約と開示により、多様な顧客ニーズに対応できる仕組みを構築することとした。
- これにより、漁業者は市場を経由せずに、高い鮮度とリーズナブルな価格で漁獲物を実需家に販売できるようになった。

## 役割

### 漁業者

- 市場取引の長所・短所を検討し、消費者ニーズを踏まえた多様な販売方法を考案し、漁獲データセンターのシステム構築に参画する。
- 消費者の多様なニーズに応えるため、多種多様な魚種を揃えることができるよう、本事業への参加漁業者を組織する。

### IT企業

- システム開発のノウハウを活かし、漁獲データセンターのシステム構築を行う。

## 効果

### 漁業者

- 規格外を含めた漁獲物の需要創造を実現することにより、売上げが向上する。
- インターネットによるオークション方式の販売により、「最も高い価値を認めてくれた消費者」への販売が実現し、利益率が向上する。

### IT企業

- 新たな分野への進出により、事業領域・顧客層を拡大することができる。

## 副次的効果

### 飲食業・スーパー

- チェーン店ではない料亭やレストランなどが店舗に居ながらにして、全国各地の魚を購入することができるようになり、最終顧客への訴求力が高まり、客数の増加・客単価の向上が期待できる。
- 大型スーパーなども、「網指定」で水産物を購入できるため、リーズナブルな価格で、他チェーンとは異なる品揃えの魚を販売でき、集客力の向上が期待できる。